

主催5団体が「練習艦隊入港歓迎会」を開催しました 小西会頭が日本人形を寄託

海上自衛隊練習艦隊の舞鶴への寄港に際し、舞鶴商工会議所、舞鶴市、舞鶴市議会、京都府防衛協会、舞鶴自衛隊協力会の5団体が歓迎行事を実施しました。

北吸岸壁での入港歓迎式が行われたあと、午後6時30分から、舞鶴市商工観光センターで4年ぶりに「練習艦隊入港歓迎会」を開催。今野司令官をはじめ、初級幹部の皆さんや舞鶴地方総監部、主催団体の関係者など、約300人が出席しました。

鴨田舞鶴市長に続いて、今野司令官が「舞鶴で充電し、遠洋航海に備えたい」とあいさつ。そして、小西会頭が今野司令官に、遠洋航海時に外国の都市へ贈呈

する「日本人形」を手渡しました。この人形は、寄港都市との国際親善に役立てていただくための贈り物として司令官に寄託したものです。

また、会場では舞鶴側の関係者が、初級幹部の皆さんと交歓。歓談・激励する場面が数多く見受けられました。

練習艦隊は、舞鶴での日程を終えた4月21日午前9時に、多くの関係者に見送られながら海上自衛隊北吸岸壁を離れ、次の目的地で基地のある呉市へ向け出港しました。なお、5月下旬には海外への遠洋訓練航海が予定されています。



4年ぶりに開催された「入港歓迎会」



小西会頭(左)から今野司令官に日本人形を寄託

赤れんがパブを開催 ～練習艦隊隊員を歓待～

みずなぎViSiON『まいちん2010』が練習艦隊の隊員を歓迎する“赤れんがパブ”を4月20日に舞鶴赤れんがパーク5号棟とその周辺で4年ぶりに開催しました。

当団体は、舞鶴商工会議所青年部をはじめ、(公社)舞鶴青年会議所、舞鶴市、海上自衛隊等の青年層で構成し、自衛隊員との交流を目的に活動しています。当日は、各団体が役割を分担し、舞鶴商工会議所青年部は飲食と受付を担当しました。

赤れんがパブには、練習艦隊に乗艦する隊員約100人とまいちん関係者が参加。親睦を深め、舞鶴ならではのご当地グルメを味わっていただくために、肉じゃがをはじめ、市内店舗のホルモンうどんやピッツアを

提供しました。

舞鶴のおもてなしを体感していただき、将来の赴任地として「舞鶴」を選んでいただけるように歓待しました。



奥のステージではカラオケも行われた
(4月20日:赤れんがパーク5号棟)